

福祉のひろば 7

2017

特集 **なぜ憲法を変えたいの？
日本は再び戦争をしないと誓ったのに……**



住む人・使う人が主人公！

私たちは住む人・使う人の
立場に立って設計しています。
お気軽にご相談下さい。

京都建築事務所

〒 604-8083

京都市中京区三条柳馬場東入中之町10

代表取締役社長 川下 晃正

TEL (075) 211-7277

FAX (075) 211-7270

<http://www.kyoto-archi.co.jp/>

〒601-8382

京都市南区吉祥院石原上川原町21

<http://www.creates-k.co.jp>

クリエイツかもがわ



TEL 075 (661) 5741

FAX 075 (693) 6605

送料何冊でも240円

私の記憶が確かなうちに
私は誰？「私は私」から続く旅
クリステーン・ブライトン◎著
水野裕／監訳 中川経子／訳 A5判320頁 2000円＋税
46歳で、若年認知症と診断された私が、どう人生を、生き抜いて
きたか22年たった今も発信し続けられる秘密が明らかに！



こぼんちゃん
日記
自閉症の息子と育つ

小亀文子◆著
A5判216頁
1800円＋税

前までは、ひとつ言葉が出ただけで感動だった。最近は少し欲が出て、彼自身、何がおかしくて笑っているのか、どんなことを考えているのかを知りたい。

漆葉成彦・青木道忠・藤本文朗◆編著
A5判216頁 2000円＋税

何度でも
やりなおせる



ひきこもり支援の
実践と研究の今

ひきこもり経験のある青年、家族、そして「ともに歩む」気持ちで精神科医療、教育、福祉等の視点から支援施策と問題点、改善と充実をめざす課題を提起。

いなかだてむら
青森県 田舎館村の
よなたん
“世汝単” さんに行ってきました

青森県田舎館村で暮らし、活動されている世汝単こと、大高芳郎さんが、5回目の個展を開催されるということで、秘境の旅メンバー（濱岡、細貝、泉谷、豊田、黒田）が伺いました。

田舎館村は、津軽平野の南部に位置する人口約8000人、2700世帯、22km²の村です。縄文時代、弥生時代の遺跡が数多く確認され、水田跡（垂柳遺跡）も発見されています。田んぼアートは今年で25回目。田んぼアート会場の弥生の里の西側には、広大なJRA津軽〈場外馬券売り場〉があります。なんと2032台の無料駐車場です。



惜しまれる人



世汝単こと大高芳郎さんは74歳。1966年の三本木中学〈特学2年〉から、2003年の弘前大学付属高等支援学校校長に至るまで、ほぼ養護学校一筋で教員を勤められてきました。海外視察にも多く出向かれ、専門であるデザインを磨いてこられました。定年後も、海外視察や作品制作を続けられています。なお、2011年から車椅子生活〈要介護3、身障2級〉になられ、2014年頃からようやく片言の会話ができるようになり、創作活動も継続されています。絵本も何冊が発刊されています。ひろさきしひやっこまち弘前市百石町展示館での展示会はこれで3回目。通っておられる施設の職員さんや友人のみなさんが準備を手伝います。そこに秘境メンバーが訪れました。



下の差別を
生みやすい
社会(体制)

差別は
排除
競争力
欲求不満

原基
競争
貧困
格差

天下り



社会福祉

列車時刻表

時	黒石行		弘前行	
	分	時	分	時
5	13	55	5	54
6	25	55	14	55
7	25	55	15	25
8	25	55	16	25
9	25	55	17	25
10	25	55	18	25
11	25	55	19	25
12	55	20	25	55
		21	25	55
			6	24
			14	24
			15	24
			16	24
			17	24
			18	24
			19	24
			20	24
			21	24

※注1: 太字の時間帯は「田んぼアート駅」に停車しません。
 ※注2: 12月～3月の冬期間「田んぼアート駅」は閉鎖となります。

いなかだて
 田舎館
 INAKADATE



田舎館村は、弘前市くろいしと黒石市、平川村等に囲まれた村です。今から20年少し前に、場外馬券売り場が設置され、その後、JRAの場外馬券売り場（津軽）となった大規模な公営ギャンブル施設があります。青森だけでなく、岩手県からも来られるようです。周辺には、田舎館文化センターや道の駅、遊技場も併設されています。そこに田んぼアート（第2会場）や展望台も設置されています。博物館では田澤茂の作品展示がおこなわれていました。垂柳遺跡たれやなぎの保存、どうしよ広大な場外馬券売り場とこうした文化施設の併設は、島嶼地域や過疎地がかかえる生活基盤事業と遊興施設の問題、大阪での「カジノ問題」などとリンクして考えざるをえません。

(写真・文 下野祇園)

「大きな安心。をめざし、7月に3ユニットでくるみ乳児院を開所

●特集● なぜ憲法を変えたいの？
日本は再び戦争をしないと誓ったのに……

死ぬのはイヤだ！ 生きなきゃならない！	高倉 弘士	10
隠された戦争～風船爆弾の真実～		12
砲兵工廠の日々と大阪大空襲		22

●トピックス●

南西諸島で急速に進む自衛隊配備	黒田 孝彦	26
熱中症の背景にある貧困と社会的孤立	新井 康友	38
白熱教室 ～大河内南穂子さん特別講義～		42
二重の否定—— 自国・受入国との狭間で グラビアの現場から		44
秘境の旅メンバーが辿り着いた陸奥		46
第23回社会福祉研究交流会 in 東海（8月26・27日名古屋にて）		52
会員のつどい（8月26日10時半～名古屋市立大学）		55

●連載●

施設から子どもたちの未来をきりひらく		
ゆっくり歩む子どもたちの成長を見守るなかで	吉迫 宣俊	58
相談室の窓から		
ご両親を拒否するK男さん	青木 道忠	62
育つ風景 実習生が学んだこと	清水 玲子	64
「助けて！」って言ってもええねんで！		
人は一人では生きていけない	徳丸ゆき子	66
全盲夫婦の出会いから 二人三脚のあゆみ	千田勝夫・絹枝	68
二人三脚のはじまり（1）新婚時代		
映画案内		
『トランボ ハリウッドに最も嫌われた男』	吉村 英夫	70
現代の貧困を訪ねて	生田 武志	72
全国で26%の人が、「お金がなくて病院に行けない」		
似らすとれーしょん道場 似顔絵まんがアート		
スポーツ選手を描くのじゃ～！	ラッキー植松	74
ホームレスから日本を見れば	ありむら潜	76
花咲け！男やもめ	川口モトコ	77

みんなのポスト 56 / 福祉の動き 78 / 今月の本棚 81

●グラビア● 青森県 田舎館村の「世汝単」さんに会ってきました

●表紙の絵●
神門やす子



“大きな安心、をめざし、 7月に3ユニットで くるみ乳児院を開所

大阪福祉事業財団くるみ乳児院 施設長 ^{ひらせ}平瀬まり子さん

私は、乳児院一筋で、この法人で働いてきました。一筋の施設長は、財団の乳児院としては初めてのことです。

すみれ乳児院（一九七二年開設）の建て替えは、大阪福祉事業財団・関目地域の老朽化した施設の建て替え事業のひとつとしてすすめられてきました。すみれ乳児院は、現在五〇名定員です。建て替えの計画検討をこの間、法人、職場、そして大阪市とも相談してすすめてきて、ようやく今年七月、定員一八名、三ユニットの「くるみ乳児院」と、九月頃に新築移転する「すみれ乳児院」（三五定員）の二か所で、新しい乳児院の時代がはじまります。すみれ乳児院が四五年にわたって築き上げてきた「いのちを守り育てる」実践を引き継ぎ、発展させることが原点だと思っています。

どんな施設をつくるかは、どんな実践をおこなうかと一体です。二か所の合計でいままでの定員数とほとんど変わりませんが、くるみだと一八名です。大きな施設ではありません。しかし、「小さな施設の大きな安心」をスローガンに取り組んでいます。新しい施設では三つのユニットに、子どもたちが生活できる環境や、子どもたちのかかわりを重視した勤務形態などを準備しています。ユニット方式やグループホームは、確かに家庭に近い小規模ですが、それは同時に、人の体制を厚くしないと実践が行き届きません。

施設の建て替えや新築移転という機会は、大きな転機となりました。また、二施設の開設に伴って、今年四月から新しい職員が二一名、加わります。今は開所し、スムーズに運営できるように準備しています。

福祉のひろば五月号連載「施設から子どもたちの未来をきりひろく」（第一二回）において、



ひらせ まりこ

1983年入職、すみれ乳児院副施設長を経て、2017年、くるみ乳児院施設長に就任予定。

措置変更の推移を紹介しました。子どもたちにとって、新しい施設に移ることの告知や、これまでの友達との別れ、職員との別れ、居場所との別れと、これからの暮らしを保障していくための取り組みです。今回、私たちは、二か所への移動を措置変更と同じように、子どもたちに絵本をつくって、伝え、共有できるようにしています。これらは私たちの施設での実践の積み重ねです。同時にこの取り組みを通して、新しくなかまに加わってきた若い職員とも経験を共有しながら、取り組めたらと考えています。

すみれ乳児院では、子どもの権利条約に基づき、すべての「子どもの最善の利益」が尊重されることを基本にしています。施設としても、子どもたち一人ひとりの違いを認め、子どもの気持ちによりそう養育をおこなっています。

「未来をきりひらくたくましい子ども」

「自主性・自発性をもった子」

「なかまとともに育つ子」

「要求を実現するために努力する子」

くるみ乳児院でも、すみれ乳児院や大阪福祉事業財団の理念や実践、その積み重ねを引き継ぎながら、児童福祉法及び、法人綱領にもとづき、社会的養護をになう乳児院の役割を認識し、子どもたちの最善の利益を追求します。

※八月号グラビア・トピックスで詳細を報告します。

(聞き手 編集主幹 黒田)

特集

なぜ憲法を変えたいの？

日本は再び戦争をしないと誓ったのに……

憲法は、国家を拘束するもので、国民を拘束するものではありません。

憲法の前文がそのことを示しています。

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。

そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普

